

**熊本県視覚障がい者福祉協会・団体
平成30年度 事業実績報告書**

1. 同行援護従業者養成研修事業

今年度は、8月から9月にかけて1回実施した。一般課程10名、応用課程4名が受講し、全員が無事に修了された。会場は熊本県身体障がい者福祉センターを中心とし、希望荘別館を借用した。また実技において、電車乗降では熊本市交通局、エレベーターの乗降および買物実習ではイオン熊本中央店、バス乗降では熊本都市バス小峯営業所のご協力を頂き行うことができた。

2. 歩行訓練指導等事業

(1) 歩行訓練回数 153回

(2) 歩行訓練受講者数 32名

今年度も目標(20名)を大きく上回る受講があり、熊本市が半数の16名、阿蘇・天草など遠方の受講申込者も増えてきている。

歩行訓練の必要性は、当事者のみならず家族や周りで支援する人にとっても大事なものである。今まで家族がいるときだけ外出したり、家族が休みをわざわざ取って病院に連れて行っていったことが家族の支援がなくても単独で行ったり、同行援護サービスのことを知り、利用することで家族への負担も減ることも多い。また、歩行訓練士から歩行技術の習得だけでなく、社会資源の情報提供を受けることができたり、視覚障害リハビリテーションの専門家が対応することで悩みや困りごとにも相談ができるという精神的サポートができる等、効果も期待できる。

(3) 会議・研修会など

視覚障害リハビリテーションを知ってもらおう活動をしてきた成果が出始め、医療・教育・福祉の各機関から研修会等の講師依頼が今年度18件あった。内容はボランティア養成講座や病院職員研修などで視覚障がいについての理解や手引きによる誘導方法、盲学校職員研修で指導・助言、眼科のドクターや視能訓練士向けに安全な移動方法や白杖の話など視覚障がい理解を行った。

また訓練士の専門的な知識や技術の習得などキャリアアップのための研修へ参加した。

- ・視覚障害リハビリテーション協会大会(神戸)
- ・九州歩行訓練士会勉強会(北九州)
- ・視覚障害生活訓練等指導者養成課程フォローアップ研修(大阪、厚生労働省委託)

3. 団体連絡助成等事業(別紙報告書のとおり)